

2021(令和3)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2021年4月17日(土) 1回目：13時～14時 2回目：15時～16時 定員各6名
【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム

各回：交流会（近況報告）

3. 参加者数 1回目 6人（内訳：当事者 2名、家族 4名、専門職 0名）
フンドウ代表：1名スタッフ配置
2回目 3人（内訳：当事者 0名、家族 2名、専門職 1名）

4. 当日の様子

今月は新型コロナウイルスまん延感染防止対策期間中だったが、毎月参加されている方が固定されている事、時間短縮とした交流会でも足を運ぶ方がいるとの事で、感染対策をしながら開催する運びとなった。近況報告をしながらwith コロナの中でフンドウとして今後の活動をどう実施していくか？等について意見を述べていた。来月は畑で収穫出来そうな玉ねぎの根っこ処理・販売の為に梱包作業をカフェの活動の中で出来たら…とフンドウの代表より説明があった。1時間枠内での作業が難しいため、屋内で作業をし、会話は屋内でという工夫もどうか？等意見を出し合った。飲食が会場で不可の為、帰りにブラウニー・マカロン菓子をお土産としてお渡しした。

5. 所感

毎月同じ顔触れがあるが、元気がなく入ってきて1時間介護の話や悩みを吐き出して元気に帰る家族も居る。日常生活の動作一つ一つに家族は工夫を凝らしながら介護生活を送っていて、入浴・歯磨き一つの行動にも悩み葛藤している様子があった。専門職から「介護職員にもぜひ聞かせたい内容です！」との意見もあった。家族の介護の工夫方法等、介護側との情報交換が重要と感じた。



★次回予定：2021年5月15日(土) 時間：①13時～14時 ②15時～16時 定員：各6名 以上